

一般会計 歳入・歳出予算の執行状況

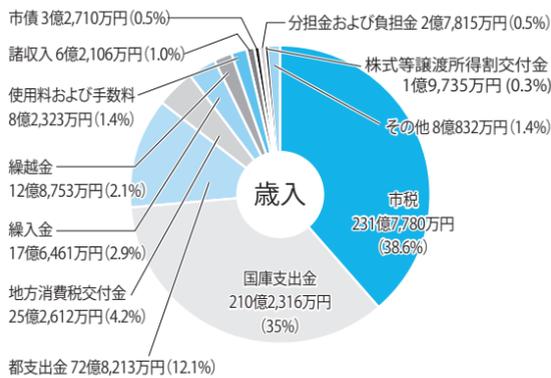
歳入・歳出予算現額 639億165万円

一般会計の歳入予算の執行状況は94.1%（前年度は92.1%）となりました。決算時には、歳入予算の執行率は、例年ほぼ100%となっています。令和2年度も、出納整理期間中に事業完了に伴う国や都からの補助金や借入金の収入が見込まれるので、予算額どおりの決算となる見込みです。

歳出予算の執行状況は85.4%（前年度は84.0%）となりました。3月末に完了した事業費や光熱水費など月額支払いが出納整理期間で行われ、最終的には令和2年度も例年同様97～98%程度の執行率となる見込みです。

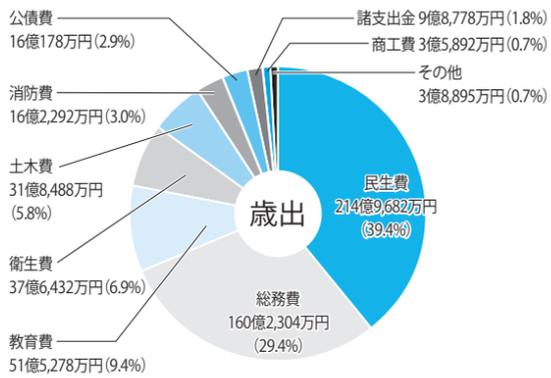
歳入 収入済額 601億1,656万円
（対予算収入率94.1%）

■半期ごとの状況 上半期=341億1,530万円
下半期=260億126万円



歳出 支出済額 545億8,219万円
（対予算執行率85.4%）

■半期ごとの状況 上半期=312億8,855万円
下半期=232億9,364万円



令和2年度下半期(10月～3月)

市の財政状況をお知らせします

財政状況の作成及び公表に関する条例に基づき、半期ごとに予算の執行状況や市の財産、市債残高などを公表しています。今回は令和2年度下半期（令和2年10月1日～3年3月31日）の財政状況をお知らせします。

なお、お知らせする金額などは3月31日現在のものです。決算額ではありません。令和2年度の決算額は出納整理期間（*1）下水道事業会計は決算整理（*2）終了後に確定します。

（*1）4月1日～5月31日。前会計年度未までに確定した債権債務に関して所定の手続きを完了し、現金の未収未払の整理を行うための期間

（*2）固定資産に係る整理や消費税計算など、事業年度終了後に行う会計処理

↓ 財政課（内52）

全会計の執行状況

会計	予算現額	歳入		歳出	
		収入済額 (収入率)	支出済額 (執行率)	収入済額 (収入率)	支出済額 (執行率)
一般会計	639億165万円	601億1,656万円 (94.1%)	545億8,219万円 (85.4%)		
特別会計 （*）	国分寺都市計画事業国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業	15億944万円	10億843万円 (66.8%)	14億4,150万円 (95.5%)	
	国民健康保険	104億443万円	93億7,218万円 (90.1%)	94億4,354万円 (90.8%)	
	介護保険	89億7,937万円	85億6,568万円 (95.4%)	78億8,781万円 (87.8%)	
	後期高齢者医療	30億3,712万円	29億1,721万円 (96.1%)	29億5,964万円 (97.4%)	
全会計合計	878億3,201万円	819億8,006万円 (93.3%)	763億1,468万円 (86.9%)		

（*）特定の事業・資金など特別に必要な場合に、一般会計から区別して歳入・歳出を別個に処理する会計（法律で特に定めるものを含む）

区分	予算現額	執行額	執行割合	
下水道事業会計	収益的収入	26億5,135万円	23億9,546万円	90.3%
	収益的支出	29億9,432万円	20億5,477万円	68.6%
	資本的収入	2億8,727万円	2億7,471万円	95.6%
	資本的支出	10億6,018万円	10億4,060万円	98.2%

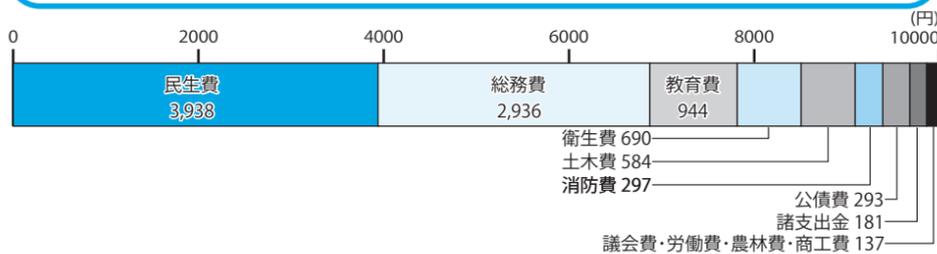
※下水道事業は、地方公営企業法の財務規定の適用により会計方式が公営企業会計に移行しているため、別表示としています

市民1人当たりの一般会計歳出の使いみち

一般会計の支出済額を使いみちごとに分類し、市の人口127,272人（令和3年4月1日現在）で除して市民1人当たりの額を算出しました。前年度に比べ、市民1人当たりの支出合計は101,470円増となりました。総務費などが増額となっている一方で、土木費などが減額となっています。

内容	市民1人当たりの額	前年度
福祉の充実のために（民生費）	168,905円	154,459円
市役所の運営や市税の賦課・徴収のために（総務費）	125,896円	26,602円
学校教育や生涯学習、文化財の保護のために（教育費）	40,487円	36,609円
健康の増進や衛生管理・ごみ処理のために（衛生費）	29,577円	30,538円
道路・駅周辺整備や交通安全のために（土木費）	25,024円	39,274円
火災などの災害対策のために（消防費）	12,752円	12,110円
市債の元金・利子償還のために（公債費）	12,585円	12,768円
特別会計への繰入金・貸付金や基金積立のために（諸支出金）	7,761円	6,905円
議会運営や経済・農業振興のために（議会費・労働費・農林費・商工費）	5,876円	8,128円
合計	428,863円	327,393円

一般会計の歳出1万円当たりの使いみち



市債の状況

道路、公園、小・中学校、下水道などの公共施設整備のために、国や都、金融機関などから長期に借り入れて調達した資金のことを「市債(市の借金)」といいます。整備した公共施設は将来にわたって使用しますので、この費用を現在の市民だけではなく、将来の市民も負担することで、世代間の負担を公平にします。

項目	元金	利子	合計
市債の現在高	243億5,776万円	9億9,190万円	253億4,966万円
市民1人当たり（*）	約19万円	約1万円	約20万円

（*）127,272人（令和3年4月1日現在の人口）

区分	市債の現在高			内容
	元金	利子	合計	
一般会計	137億7,262万円	3億7,360万円	141億4,622万円	
総務債	4億4,980万円	721万円	4億5,701万円	西国分寺駅東地区公益施設用地取得
民生債	10億7,409万円	6,630万円	11億4,039万円	高齢者複合施設・保育園舎建設、保育園大規模改修
衛生債	3億7,728万円	2,903万円	4億631万円	老人保健施設建設
土木債	51億2,449万円	1億780万円	52億3,229万円	道路・公園整備、エックス山緑地保全用地取得
消防債	7億1,215万円	1,545万円	7億2,760万円	消防団詰め所整備、消防署用地取得
教育債	35億9,350万円	1億1,987万円	37億1,337万円	小・中学校建設・改修、公民館・図書館整備
臨時財政対策債	20億6,345万円	2,661万円	20億9,006万円	一般財源の不足分に充当
減税補てん債・臨時税収補てん債	3億7,786万円	133万円	3億7,919万円	市民税等減税分・税収の補てん
特別会計	66億5,167万円	2億2,332万円	68億7,499万円	
国分寺都市計画事業国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業	66億5,167万円	2億2,332万円	68億7,499万円	国分寺駅北口再開発公共事業用地取得、国分寺駅北口再開発事業
下水道事業会計	39億3,347万円	3億9,498万円	43億2,845万円	公共下水道整備

一時借入金の状況

一時借入金はありません

市有財産の状況	土地	建物	物権
令和2年度上半期（*）からの増減（*）令和2年12月1日号5ページ参照	公園や施設などの敷地 505,700.86㎡ (+2,520.72㎡)	学校や公民館など 164,277.25㎡ (+1,331.75㎡)	地上権 1,352.58㎡ (±0㎡)
出資による権利等	物品	債権	基金
JR東京駅ビル開発(株)出資金など 5,790万円 (±0円)	1件100万円以上の自動車等備品類 287点 (-13点)	国分寺市土地開発公社貸付金など 6億9,122万円 (+1,957万円)	財政調整基金など 117億5,529万円 (-12億7,608万円)

特集 財政状況

市役所への申し込み問い合わせの時間は、特記がない場合は月～金曜日午前8時30分～午後5時（正午～午後1時を除く）の受付となります。